

# 2035年ありたい組合（職場づくり）を 実現するために

【望月 徹也】



## ・ 行うことでどうなるか （もしやらなかったらどうなるか）

- ・ 人口の減少と労働組合の組合員減少が進むことが予想される  
いままでより、さらに個別の意見集約が必要
- ・ 欲しい情報が、欲しい時に手に入れることができる
- ・ たくさんの組合員が参加し、組合費を支払うメリットを感じてくれる

## ・ どのように進めたか（進めている）？

- ・ LINEやGoogleフォームを活用（運用目指す）
- ・ 組合LINEを運用中。相談・福利厚生・機関誌デジタル版・共済問い合わせなど
- ・ 現地集合サファリパークツアー（2024年度）  
積水ハウス展示場見学・のんほいパークツアー（2025年1月）  
ユニバーサルスタジオジャパンツアー（2025年3月）  
東京ディズニーリゾートツアー（計画中！）

## ・ なぜ行うか。その理由

- ・ 労働組合に求める一人ひとりの声を、しっかりと聞き取る必要がある。
- ・ 会議体や機関誌では、情報が届く範囲に限りがある。  
LINEのような、個人に直接届くシステムを導入していく。  
→ペーパーレス化が進む。情報取得者の制限がなくなる
- ・ 生活が豊かになるための条件は、人によって違うはず！  
五感を使って楽しめるレクリエーションや、知識を増やすマネーセミナーなど  
組合だからこそ可能な、スケールメリットを感じてもらう。

## ・ 何を行うか（行っているか）

- ・ 組合員へアンケート調査を実施し、ニーズを可視化する
- ・ 組合LINEを使用して、迅速な情報発信をする
- ・ 楽しみ・学びが選択できる、各種イベント・セミナーを開催する

# 2035年の労働組合の姿

従来の【共に闘う】姿も大切にしながら、  
一人ひとりの【個性】や、多様な考え方が、  
今まで以上に発信され、尊重される、  
風通しがよく、パワフルな労働組合！

元気な組合！元気な会社！元気な日本人！元気な日本！